

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>○地域の中の学校を創造する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域、PTA 行事等に教職員が積極的に参加できるよう、校務分掌に役割分担を位置付け、地域を意識した教育活動を展開します。(学校防災を含む) ・現在の桂小教育懇話会から桂小学校運営協議会の設置に向けて検討を始めます。(目標 H29 年度) ・言語活動の重視 (優しさを心に秘め行動する子) します。 ・体力向上の重視 (自ら自分の体を高める子)

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
豊かな心	○道徳科を要として、全教育活動での道徳教育を充実させ、自ら判断し、自他を大切にできる心情や態度を育てます。	指針1 「道徳の授業」の充実 ① 道徳科を要とし、全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。 指針2 体験学習の充実 ② 「係活動」や「当番活動」、「児童会活動」「クラブ活動」「集団宿泊体験」「社会科見学」の充実 ③縦割りのふれあい活動を通して、異学年同士の思いやりの心や協力する心、自ら判断する心を育てる 指針3 確かな人権感覚・意識の育成 ④個別の教育支援計画・指導計画を作成し、交流及び協同学習の推進を行う。 ⑤人権・福祉教育を通して、差別意識があることへの理解を深め、差別を無くしていく行動をとることができる。 指針4 豊かな感情や情操の育成 ⑥ 読書に親しむ機会を充実させる。
担当 道徳部		

2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

全般に明るく素直で、何事にも一生懸命取り組もうとしている。しかし、自分から挨拶をしたり、人の気持ちを考えて行動したりすることが苦手な傾向にある。道徳的な価値の理解はできるが、実際に行うとして実現する力が身に付いていない。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の授業」の充実(必須項目) ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- ・ 全学級の道徳授業公開を年間1回以上実施する。
- ・ 道徳通信を通して、桂小学校の道徳教育について、家庭・地域に発信する。【視点1】

指針2 体験学習の充実(本物体験活動と振り返り)

- ・ 「係活動」や「当番活動」の充実…係活動や当番活動に自主的に取り組むことができるように、自分たちで考え、計画を立てて運営できる力を育成する。
- ・ 「異年齢集団活動」の充実…「児童会活動」「クラブ活動」「ふれあい活動」などを、より自主的、意欲的に行うことができるようにする。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・ 個別の教育支援計画・指導計画の充実…支援が必要な子どもに対して個別に支援計画や指導計画を作成する。
- ・ 交流及び共同学習の推進…一般学級と個別支援学級の子どもの交流を通して学びあいながら相互理解を深める。
- ・ 人権週間の学年に応じた取組み…資料「見つめ 気づき 変わる」を活用する。(視点8)

指針4 豊かな感情や情操の育成

- ・ 読書に親しむ機会の充実…子どもたちの表現力や想像力を高め、豊かな慣性を育む。
朝読書・読み聞かせ・おはなし広場・音楽朝会 (視点11)